

●プログラム

学術講演

◆学術総会会長講演

9月7日(水) 14:20～14:50 A会場(リンクステーションホール青森 大ホール)

「地域社会と栄養改善と栄養学」

演者: 吉池 信男(青森県立保健大学健康科学部栄養学科 教授)

座長: 酒井 徹(徳島大学大学院医歯薬学研究部栄養科学部門 教授)

◆文化講演

9月8日(木) 14:30～15:10 A会場(リンクステーションホール青森 大ホール)

「イタコの口寄せがもたらす癒しのこころ」

演者: 藤井 博英(日本赤十字秋田看護大学 教授)

座長: 藤田 修三(青森県立保健大学健康科学部栄養学科 教授)

◆奨励賞受賞講演

9月8日(木) 13:20～14:20 A会場(リンクステーションホール青森 大ホール)

座長: 岡 純(東京家政大学家政学部栄養学科 教授)

【奨励賞】「幼児と妊婦のサプリメント利用実態に関する研究」

佐藤 陽子(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 研究員)

【奨励賞】「自立／自律した脊髄損傷者の食生活と食環境の質の向上を目指したコミュニティ戦略」

秦 希久子(青森県立保健大学健康科学部栄養学科)

【奨励賞】「生活習慣病の進展予防に関する栄養学的研究－予防から臨床応用へ－」

松下 由実(国立研究開発法人国立国際医療研究センター 臨床研究推進部教育研修室 室長)

市民公開講座

9月9日(金) 13:30～15:30 A会場(リンクステーションホール青森 大ホール)

「食からの健やか力(ヘルスリテラシー)向上～短命県返上に向けたチャレンジ～」

基調講演:「あなたの健康情報、大丈夫？」

中山 健夫(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 健康情報学分野 教授)

パネルディスカッション:「健康増進につなげる健康情報を“つくる・つたえる・つかう”」

久保 薫(青森中央短期大学 学長)

大西 基喜(青森県立保健大学 特任教授)

芳賀智恵子(青森県健康福祉部がん・生活習慣病対策課)

上明戸華恵(野菜ソムリエ)

杉 義憲(紅屋商事営業企画部 CS担当課)

◆栄養相談

9月9日(金) 12:30～16:30 A会場前ホワイエ(リンクステーションホール青森 大ホール前)

連携共催: 公益社団法人青森県栄養士会

教育講演

◆教育講演①

9月8日(木) 11:10～11:50 A会場(リンクステーションホール青森 大ホール)

「新しい研究倫理指針:人を対象とした栄養学研究で留意すべきこと」

演者: 川村 孝(京都大学環境安全保健機構健康科学センター センター長)

座長: 柳 元和(帝塚山大学現代生活学部食物栄養学科 教授)

◆教育講演②

9月8日(木) 11:10～11:50 H・I会場(ホテル青森 3階 あすなろA・B)

「小児肥満症の診断と治療」

演者: 原 光彦(東京家政学院大学現代生活学部健康栄養学科 教授)

座長: 東 あかね(京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授)

◆教育講演③

9月8日(木) 14:10～14:50 D会場(ホテルクラウンパレス青森 2階 奥入瀬)

「塩味の感じ方からみた減塩食の設計」

演者:河合 崇行(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門 主任研究員)
座長:荒川 義人(天使大学看護栄養学部栄養学科 教授)

◆教育講演④

9月8日(木) 15:20～16:00 A会場(リンクステーションホール青森 大ホール)

「日本食品標準成分表2015年版(七訂)～改訂の要点と活用～」

演者:渡邊 智子(千葉県立保健医療大学健康科学部栄養学科 教授)
座長:石見 佳子(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所食品保健機能研究部 部長)

◆教育講演⑤

9月9日(金) 9:30～10:10 A会場(リンクステーションホール青森 大ホール)

「第3次食育推進基本計画を踏まえた食育の推進」

演者:米倉 礼子(農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課食育計画班 課長補佐)
座長:早瀬 仁美(福岡女子大学国際文理学部 食・健康学科 教授)

◆日韓教育講演

9月9日(金) 9:00～9:40 J・K会場(ホテル青森 3階 はまなす)

The contribution of nutrition to the national development: Korea's experience

演者:Dr. Young-Ok Kim (Professor emeritus, Dongduk Women's University, former president of KSCN)
座長:吉池 信男(青森県立保健大学健康科学部栄養学科 教授)

シンポジウム

◆共催シンポジウム

9月8日(木) 9:00～11:00 D会場(ホテルクラウンパレス青森 2階 奥入瀬)

「ロコモティブシンドローム～骨と筋肉を強く保つための栄養の課題～」

座長:上西 一弘(女子栄養大学栄養生理学研究室 教授)
石橋 英明(医療法人社団愛友会伊奈病院整形外科 部長)

シンポジスト:

「ロコモティブシンドローム対策への最近の取り組み -立ち上がりテストからTry 40 cm!-」
大江 隆史(NTT東日本関東病院 手術部長)

「骨粗鬆症予防と骨折防止の重要性と戦略」
石橋 英明(医療法人社団愛友会伊奈病院整形外科 部長)

「ロコモティブシンドローム改善のための整形外科手術の実際」
富士 武史(独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院 副院長)

「サルコペニアに関わる栄養のエビデンス」
新開 省二(東京都健康長寿医療センター研究所 副所長)

「ロコモティブシンドローム予防のための栄養の取り組み 若年期からの予防の必要性」
上西 一弘(女子栄養大学栄養生理学研究室 教授)

「二次骨折予防チームにおける管理栄養士の関わり」
石山 優子(医療法人社団愛広会新潟リハビリテーション病院 栄養科主任管理栄養士)

共催:日本整形外科学会、味の素株式会社

◆第7回日韓合同シンポジウム

9月9日(金) 10:00～11:50 J・K会場(ホテル青森 3階 はまなす)

Nutritional status of children and the school nutrition program in Asia

座長:Dr. Young-Ok Kim (Professor emeritus, Dongduk Women's University, former president of KSCN)
永井 成美(兵庫県立大学環境人間学部 教授)

シンポジスト:

Health and nutrition problems of North Korean children
Dr. Soo-Kyoung Lee (Professor, Inha University)

School meal service and nutrition education in Korea
Dr. Seung Min Lee (Professor, Seongsin Women's University)

Health and nutrition problems of Japanese school children
Hiroko Kodama (Professor, Teikyo Heisei University)

School lunch program and nutrition education in Japan
Akemi Nakanishi (Lecturer, Kagawa Nutrition University)
Kumi Eto (Lecturer, Kagawa Nutrition University)

◆シンポジウム①

9月7日(水) 15:00～17:30 A会場(リンクステーションホール青森 大ホール)

「体内時計からこれからの栄養学を深める～時間栄養学の基礎研究と実践をつなぐ～」

座長:加藤 秀夫(東北女子大学家政学部 教授)
永井 成美(兵庫県立大学環境人間学部 教授)

シンポジスト:

「はじめに:日周リズムから健康寿命へ」
香川 靖雄(女子栄養大学 教授)
「時間栄養学の昨日・今日・明日」
加藤 秀夫(東北女子大学家政学部 教授)
「時間栄養学とメタボリックシンドローム」
高橋 将記(早稲田大学理工学術院 助教)
「食事時刻の変化・摂食速度と食事誘発性熱産生」
外山 健二(神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 教授)
「時間栄養学を食育に活かす」
永井 成美(兵庫県立大学環境人間学部 教授)

◆シンポジウム②

9月8日(木) 9:00～11:00 H・I会場(ホテル青森 3階 あすなるA・B)

「ライフサイクルにおける栄養と疾患発症について」

座長:瀧本 秀美(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所栄養疫学研究部 部長)
佐藤 伸(青森県立保健大学健康科学部栄養学科 教授)

シンポジスト:

「胎生期・授乳期の栄養環境と栄養応答シグナルー動物モデルを用いた解析ー」
佐藤 伸(青森県立保健大学健康科学部栄養学科 教授)
「産科医から管理栄養士、栄養士の皆様へお伝えしたいこと」
伊東 宏晃(浜松医科大学附属病院周産母子センター センター長)
「出生前栄養要因によって生活習慣病が発症する仕組みを理解するために」
佐藤 憲子(東京医科歯科大学難治疾患研究所分子疫学(環境エピゲノム) 准教授)
「ライフサイクルにおける栄養とエピジェネティクスーこれからの研究発展のためにー」
瀧本 秀美(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所栄養疫学研究部 部長)

◆シンポジウム③

9月8日(木) 9:30～11:00 A会場(リンクステーションホール青森 大ホール)

「学術と産業振興の悩ましい関係:学術団体および専門職の役割を考える」

座長:武見 ゆかり(女子栄養大学栄養学部 教授)
吉池 信男(青森県立保健大学健康科学部栄養学科 教授)

シンポジスト:

「学術研究における利益相反(COI)とヘルスリテラシー」
中山 健夫(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野 教授)
「食品の機能性を活かした社会還元、産学連携」
藤田 修三(青森県立保健大学健康科学部栄養学科 教授)
「機能性表示食品制度検討会における学術と産業の主張」
赤松 利恵(お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系 教授)
「産学連携の光と影ー知財アドバイザーの立場からー」
丞村 宏(青森県立保健大学 客員教授)

◆シンポジウム④

9月8日(木) 15:00～17:00 D会場(ホテルクラウンパレス青森 2階 奥入瀬)

「3Dプリンタブームから広がる食の未来」

座長:古川 英光(山形大学大学院理工学研究科 教授)
笠原 賀子(山形県立米沢栄養大学健康栄養学部健康栄養学科 教授)

シンポジスト:

「ゲル材料・食品ゲルを自由造形する3Dゲルプリンターと食の未来」
古川 英光(山形大学大学院理工学研究科 教授)
「3Dプリンタが誘発する研究・教育の新展開」
川上 勝(山形大学大学院理工学研究科 准教授)
「米沢いただきます研究会 since 2014」
情野 浩二(米沢商工会議所)
「3D米沢牛ほかほかゼリーの開発」
白田 静雄(イタリアンレストランリーガル)

◆シンポジウム⑤

9月8日(木) 16:00～17:30 A会場(リンクステーションホール青森 大ホール)

「日本食品標準成分表を实践、研究、教育に活用しましょう」

座長：渡邊 智子(千葉県立保健医療大学健康科学部栄養学科 教授)

シンポジスト：

「食品成分表の現状と課題」

安井 明美(国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 アドバイザー)

「栄養成分表示と食品成分表の関係」

石見 佳子(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
国立健康・栄養研究所食品保健機能研究部 部長)

「国民健康・栄養調査における食品成分表の活用について」

瀧本 秀美(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
国立健康・栄養研究所栄養疫学研究部 部長)

◆シンポジウム⑥

9月9日(金) 10:20～11:40 A会場(リンクステーションホール青森 大ホール)

「青少年のスポーツ栄養」

座長：田口 素子(早稲田大学スポーツ科学学術院 教授)

シンポジスト：

「スポーツをする高校生の食と生活について ～公認スポーツ栄養士の視点から～」

中井 多津枝(大阪市立桜宮高等学校 教諭)

「ジュニア選手の欠食とコンディションへの影響」

田口 素子(早稲田大学スポーツ科学学術院 教授)

「ジュニア選手とシニア選手におけるサプリメント利用実態の比較」

亀井 明子(国立スポーツ科学センタースポーツ科学研究部スポーツ栄養学グループ 研究員)

指定発言者：吉岡 美子(青森県立保健大学健康科学部栄養学科 教授)

◆シンポジウム⑦

9月9日(金) 13:20～15:20 H・I会場(ホテル青森 3階 あすなろ)

「アミノ酸の可能性を探る～美味しさと健康・環境を支える～」

座長：下村 吉治(名古屋大学大学院生命農学研究科 教授)

南 久則(熊本県立大学環境共生学部 教授)

シンポジスト：

「分岐鎖アミノ酸(BCAA)の生理機能の多様性」

下村 吉治(名古屋大学大学院生命農学研究科 教授)

「食べ物のおいしさにおけるアミノ酸の役割」

西村 敏英(日本獣医生命科学大学応用生命科学部食品科学科 教授)

「睡眠と食事のリズム ～睡眠の質を高めるグリシン～」

大川 匡子(睡眠総合ケアクリニック代々木
公益財団法人精神・神経科学振興財団 理事)

「消化器外科領域におけるアミノ酸の臨床応用」

土屋 誉(仙台市医療センター仙台オープン病院 院長)

「アミノ酸混和コンクリート ～海(健康)改善～」

中西 敬(日建工学株式会社 顧問)

協賛：味の素株式会社

後援：日本アミノ酸学会

◆シンポジウム⑧

9月9日(金) 14:00～16:10 D会場(ホテルクラウンパレス青森 2階 奥入瀬)

「いま!東北から世界へ～震災からのエビデンスと教訓。放射線から医療、食まで～」

座長: 金谷 泰宏(国立保健医療科学院健康危機管理研究部 部長)

須藤 紀子(お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系 准教授)

シンポジスト:

「福島県『県民健康調査』から見える栄養・食など生活習慣の実態と今後の課題」

安村 誠司(福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座 教授)

「健康は復興したか?～東北メディカル・メガバンク計画を含む大規模疫学調査からみえてきた東日本大震災後の健康課題とその対策～」

栗山 進一(東北大学災害科学国際研究所災害公衆衛生学分野 教授)

「被災者への食料支援を阻んだ3つの要因

～食品企業の生産能力と過度の集約化・輸送手段の限界・一般消費者の消費行動～」

土居 邦弘(国立研究開発法人国際農林水産業研究センター研究戦略室 室長)

「いま!私達に出来ること

～災害栄養士JDA-DATのエビデンスにもとづくトレーニング研修と被災地支援活動の実際～」

笠岡(坪山) 宜代(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

国立健康・栄養研究所栄養疫学研究部食事摂取基準研究室 室長)

ワークショップ

◆ワークショップ①

9月8日(木) 13:20～15:20 H会場(ホテル青森 3階 あすなろA)

「栄養診断とPES報告の実践に向けて」

コーディネーター: 寒河江豊昭(山形県立米沢栄養大学健康栄養学部健康栄養学科 准教授)

発表者: 片桐 義範(公立大学法人福岡女子大学国際文理学部食・健康学科 教授)

石長孝二郎(広島女学院大学人間生活学部管理栄養学科 教授)

◆ワークショップ②

9月8日(木) 13:20～15:20 I会場(ホテル青森 3階 あすなろB)

「女性ジュニアアスリートの発育・発達を考える」

コーディネーター: 鈴木志保子(神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 教授)

発表者: 松田 貴雄(国立病院機構西別府病院スポーツ医学センター センター長)

◆ワークショップ③

9月8日(木) 13:20～15:20 J会場(ホテル青森 3階 はまなすC)

「健康長寿を支える食環境整備の取り組み」

コーディネーター: 村山 伸子(新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科 教授)

発表者: 芳賀めぐみ(厚生労働省健康局健康課 栄養指導室)

亀田 誠(イオンリテール(株)食品商品企画本部デリカ商品統括部デリカ開発部 アナリスト)

高戸 良之(シダックス(株)総合研究所 課長)

赤松 利恵(お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系 教授)

◆ワークショップ④

9月8日(木) 13:20～15:20 K会場(ホテル青森 3階 はまなすD)

「人を対象とした栄養学研究を行う際の研究倫理を考える」

コーディネーター: 稲山 貴代(首都大学東京大学院人間健康科学研究科 准教授)

助言者: 川村 孝(京都大学環境安全保健機構健康科学センター センター長)

◆ワークショップ⑤

9月8日(木) 15:40～17:40 H会場(ホテル青森 3階 あすなろA)

「食べることは生きること!!!在宅歯科診療における管理栄養士・栄養士の関わりとその課題」

コーディネーター: 田中 弥生(駒沢女子大学人間健康学部健康栄養学科 教授)

発表者: 菊谷 武(日本歯科大学 教授)

石黒 幸枝(米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」)

水島 美保(医療法人 アンブル歯科)

◆ワークショップ⑥

9月8日(木) 15:40～17:40 I会場(ホテル青森 3階 あすなるB)

「栄養教諭の未来」

コーディネーター: 田中 延子(京都府立大学、淑徳大学 客員教授)

発表者: 山口 清美(茨城県立水戸高等特別支援学校 栄養教諭)

太田裕美子(富山県富山市立堀川小学校 栄養教諭)

中田かおり(北海道中標津町立丸山小学校 栄養教諭)

◆ワークショップ⑦

9月8日(木) 15:40～17:40 J会場(ホテル青森 3階 はまなすC)

国際栄養ワークショップ「持続可能な開発目標の枠組で日本の栄養分野を分析する」

コーディネーター: 石川みどり(国立保健医療科学院生涯健康研究部 上席主任研究官)

村山 伸子(新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科 教授)

草間かおる(青森県立保健大学健康科学部栄養学科 准教授)

ファシリテーター: 堀江 早喜(帝京大学大学院公衆衛生学研究科 協力研究員)

長谷川めぐみ(実践女子大学生活科学部食生活科学科 教授)

水元 芳(福岡女子大学国際文理学部食・健康学科 准教授)

野末 みほ(国立がん研究センター, 女子栄養大学栄養科学研究所 特任研究員)

◆ワークショップ⑧

9月8日(木) 15:40～17:40 K会場(ホテル青森 3階 はまなすD)

実践栄養学研究セミナー「実践現場からの科学的根拠の発信 ～「実践報告」論文の充実に向けて～」

コーディネーター: 赤松 利恵(お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系 教授)

発表者: 武見ゆかり(女子栄養大学栄養学部 教授)

由田 克士(大阪市立大学大学院生活科学研究科 教授)

吉池 信男(青森県立保健大学健康科学部栄養学科 教授)

◆ワークショップまとめ

9月9日(金) 10:30～11:45 D会場(ホテルクラウンパレス青森 2階 奥入瀬)

座 長: 笹田 陽子(盛岡大学栄養科学部栄養科学科 教授)

研究自由集会

■ ■ 平成28年9月7日(水) 18:00～20:00 ■ ■

◆研究自由集会① 日本DOHaD研究会

テ ー マ: DOHaD(ドーハッド)説(受精、妊娠中から2歳までの1000日間の望ましくない環境が非感染性疾患(NCDs)発症の素因を形成するとの考え方)からみた栄養の重要性

会 場: B会場(リンクステーションホール青森 3階 小会議室(4))

予想参加人数: 100名

内 容: DOHaD(Developmental Origins of Health and Disease)は、胎生期から乳幼児期までの栄養等の望ましくない環境が、NCD(Non-Communicable Disease: 非感染性疾患)を含む成人期疾患の発症リスクとなるという理論である。若年女性の痩せが多く、出生時平均体重が減少し、低出生体重児が1割に迫っている日本の現状は、今後DOHaDに関連する成人の疾患が増加する事が危惧される。本集会の目的は、DOHaDに関するエビデンスの紹介と管理栄養士・栄養士の役割を話し合う事である。

世 話 人: 小山田正人(藤女子大学)

連 絡 先: 福岡 秀興(早稲田大学理工学術院理工学研究所)

TEL: 03-5286-2679 E-mail: fukuoka-htp@aoni.waseda.jp

◆研究自由集会② EBNを考える会

テ ー マ: EBNに役立つ論文を書こう

会 場: C会場(リンクステーションホール青森 4階 小会議室(1))

予想参加人数: 80名

内 容: 質の高い栄養実務遂行のためにはEBNが欠かせません。けれどもEBNに役立つ論文は、日本ではまだまだ不足しています。今回は、これから研究論文を書きたい人のために、実際の研究を題材に、論文の書き方を手取り足取りお教えします。自由に語り合う会をめざして、来場者からの悩みを募り、質問・相談に具体的にお答えします。EBNに役立つ論文を増やすために、どのように論文執筆を進めていけばよいか、一緒に考えてみましょう。

世 話 人: 佐々木 敏(東京大学大学院医学系研究科)

連 絡 先: 児林 聡美(東京大学大学院医学系研究科)

TEL: 03-5841-7872 E-mail: satomikoba@m.u-tokyo.ac.jp